



## 砂の美術館第13期展示経済波及効果について

(令和2年度～令和3年度)

砂の美術館第13期展示は、令和2年7月11日から令和4年1月3日までの514日間(R3.2月はメンテナンス休館)に延長した開催となり、来館者数は338,445人(R2:176,524人、R3:161,921人)となりました。※第12期(268日間)は500,309人  
来館者の95%が砂の美術館の印象は良いという高評価をいただくとともに、90.2%を県外者が占め、また、70.6%の方が宿泊され、コロナ禍の中、地域経済の回復の一役を担うことができました。

この第13期展示の経済波及効果及び宣伝効果の概要について、以下のとおりお知らせします。

※2カ年度にわたる開催のため、単年度ごとの数字も算出しています。

<b>経済波及効果</b>	<p style="text-align: center;"><b>92億1千万円</b></p> <p style="text-align: center;">【R2】47億8千万円 【R3】44億3千万円</p>	来館者アンケートデータをもとに鳥取県産業連関表を用いて算出 ※【R元】117億4千万円
<b>経済波及効果の内訳</b> <b>□直接的経済効果(実際に支出された額)</b> <b>59億円 【R2】30億6千万円 【R3】28億4千万円</b> ※直接的経済効果とは実際に支出された額のことをいいます。 <b>□間接的経済効果(1次波及効果と2次波及効果に分類)</b> <b>33億1千万円 【R2】17億1千万円 【R3】16億円</b> 第1次波及効果(直接的経済効果分の支出に対して調達した財・サービスの内訳) 21億9千万円 【R2】11億3千万円 【R3】10億6千万円 第2次波及効果(1次波及効果で発生した額が各家計に所得として割り振られ、消費に回された額) 11億2千万円 【R2】5億8千万円 【R3】5億4千万円		
<b>宣伝効果</b>	<p style="text-align: center;"><b>1億7千万円</b></p> <p style="text-align: center;">【R2】1億2千万円 【R3】5千万円</p>	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEB等の広告料を換算し算出 ※【R元】2億5千万円
【R2】 テレビ(全国版)3,000万円(地方版)2,400万円 新聞、雑誌、ラジオ、WEB、その他 6,600万円 【R3】 テレビ(全国版)2,000万円(地方版)1,400万円 新聞、雑誌、ラジオ、WEB、その他 1,600万円		

### 傾向と分析

コロナ禍での開催の影響もあり、バスツアーなどの一般団体が減少した一方、教育旅行による学生団体が増加するなど、これまでとは異なる来館者の傾向となった。

こうした来館者の動向やニーズの変化に的確に対応しつつ、入館制限や検温などの感染防止対策を徹底し運営を行ったことにより、コロナ禍においても地域経済の活性化や観光振興に貢献することができた。